

Graph Drawing '99

西関 隆夫 (東北大学 大学院 情報科学研究科)

Graph Drawing Workshop はグラフ描画に関するワークショップであり、1993年から毎年開催されている。その第7回にあたるGD'99は1999年の9月15日から19日までチェコのStirin城にて開催された。Stirin城はプラハから車で30分位の郊外にあり、中世の城を国際会議にも使えるように最近改修されており、客室も一流ホテル並みにきれいで快適でした。Stirin城にはゴルフ場もあり、会場の脇には多くのゴルファーが見られたが、会議参加者でゴルフを楽しんだ者はいなかったようだが、散歩をする人は沢山いた。

今年のGraph Drawingでは38件の一般講演と次の3件の招待講演があった。まず初日にJ. Matousekが計算幾何学の最近のトピックスについて講演した。2日目にR. Thomasが“Graph Planarity and Related Topics”という演題で、4色定理の新しい証明法などについて講演した。最終日には、数学者でかつ画家でもあるJ. Nestrilが“Art of Drawing”という演題で、多くの絵をスライドで見せながら、楽しい芸術的な講演をした。

一般講演で扱われたトピックスは、直交描画、グラフラベリング、3次元直交描画、階層平面埋め込み、円弧描画、4連結平面グラフの格子描画、交差最小描画、対称性検出、木のボロノイ図描画、描画システムなどである。論文集はSpringerのLecture Notes in Computer Scienceの1冊として近々刊行される。

グラフ描画コンテストも行なわれ、前もって与えられたグラフをいかに上手に見易く描画できるかを競い、優秀作品が選ばれた。

チェコと言えばビールが有名でうまく、しかも安い。歓迎パーティー、バンケット、昼食時などでおいしいビールが沢山飲めた。コンサートも催され、プラハの音楽家によって多くの種類の笛の演奏が行なわれた。

Graph Drawing 2000は米国のWilliamsburgにおいて9月20日～23日に開催される。詳細は<http://www.cs.virginia.edu/~gd2000/>を参照されたい。